



YMCA

2005年度大阪YMCA年間聖句

「励ましあいなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。」（コリントの信徒への手紙Ⅱ 13章11節）

大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

月刊 TheYMCA 付録
 編集・発行 / 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7番地
 大阪青年 発行：錦織一郎 編集：大阪YMCA広報室
 〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6
 TEL:06-6441-0894 FAX:06-6445-0297
 URL: http://www.osakaymca.or.jp/
 (年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

大阪青年

2006 Jan. 1
Feb. 2
No. 580

2006年 迎春

希望を持って、共に生きる！



スリランカにて（撮影：只野準一）

霧のような憂いも、闇のような恐れも、
 みなうしろに投げすて、
 こころを高くあげよう。

（讚美歌第2編1番「こころを高くあげよう」）

私たちは、陽が降り注がず、霧や闇の中を手探りで歩いていく旅人のように、出口が見つかからない時代をさまよっているように思えます。しかし、憂うのではなく、恐れるのではなく、「こころを高くあげよう」という思いをもって、YMCAに連なる皆様方と共に歩み、社会の課題にチャレンジしていきたいのです。私たちに常に新しい時が与えられます。そして、与えられた新しい時が、新しい活動、新しい体験、新しい出会い、新しい気づきを生み出し、私たちが自身をも新しくします。私たちが臆することなく新し

いことに勇氣をもってチャレンジできるのは、傍にいて見守り、祈りをもって支えてくれる人々が共に在るからです。大阪青年第一面の右上に「大阪YMCAの使命」を小さな文字で掲げ、ミッションを表しています。大阪YMCAは21世紀を間近にした2000年にこの使命を制定し、「希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします」という言葉を使用しました。同時に作成した使命解説文に、『希望を持って』という言葉を使用し、悲観的な社会状況を落胆するのではなく、多くの青少年や人と交わり、キリスト教信仰に根ざした大きな希望を見い出すことを私たちの果たすべきこととした。また、「共に生きる社会」は「VISION2010」で提唱している「ネットワーク型福祉社会」と同義であり、多様な人格と個性を尊重し、交わり、感じ、行動し、奉仕し、共に生きていくことを実感できる社会の実現に向かうことを表した」と記しています。私たちの大阪YMCAは、ネットワーク型福祉社会Ⅱ共に生きる社会をめざして、希望を語り合い、行動していこうとする人の集まりです。

創立124年目となる2006年もまた、「こころを高くあげて」、未来への希望に向けて共に進んでまいりましょう。

大阪YMCA総主事

錦織一郎

地の塩

▼人生は時間の流れです。小学校は六年間、中・高校は各三年間、短期大学は卒業に二年間が必要です。こうした長さとしての時間をギリシヤ語でクロノスと言います。これまで日本では年功序列制など長さとしての時間「クロノス」が重視されてきました▼ギリシヤ語にはもう一つ時間を表す言葉にカイロスがあります。これは長さではなくて、経過した時間の質とか内容を表す言葉です▼私は神学校を卒業した直後から三十数年間を関西の幾つかのキリスト教系短期大学で教鞭を執っていました。次第に独創性や新鮮みがなくなり、各二年間がクロノスであったように思い自省しています▼それでも、振り返ると二年間をカイロスとして過ごしたことが二度あります。長崎で被爆した中学生時代は数多くの死を見つめ、生命の大切さを痛感し、神さまと真剣に向き合いました。焼け跡の仮校舎で過ごした中二、中三の二年間はおぼろげながらも牧師への召命が与えられ、貧しい中にも充実した時間でした▼西宮市で阪神淡路大震災に遭遇し、仮設住宅から瓦礫と化した教会に通った二年間も、不自由な中にも復興再建に邁進したカイロスな時間でした。教会の皆さんと一致団結し信頼感に強く結ばれた最も充実した時間でした▼YMCAに連なる皆さんにとつて新しい年がカイロスな時間となりますよう願っています。（虔）